





### 〈生活支援アンケートの算定方法〉

- ① 番号に○だけの場合は慎重になりすぎるが、少しある場合の△を追加することで、誤差なく選択することができる。
- ② ◎と○と△の点数は同じとする。
- ③ 短時間（7～78分程度）で記入できる。
- ④ 短時間は右のみを算定する。◎・○・△のついている項目の右の  図  1点・ 2点・ 5点を計算する。

### ◎評価・活用

→□本人のADLの程度、認知症状の有無及び重症度が推定できる。

□本アンケートの結果は、認知症の診断そのものを示すものではないが、診断の参考になる。

□未受診者について、境界域以上の点数ができれば早期受診につなげる。

### \* 評価段階と対応の目安

9点以下	正 常	生活習慣上の助言、回答状況により認知症予防教室等への参加勧奨
10～19点	境 界	生活習慣上の助言、早期受診勧奨、認知症予防教室等への参加勧奨
20～39点	軽 度	家族介護とサービス利用により在宅生活維持可能
40～59点	中等度	在宅困難で介護者支援の強化、施設入所等、在宅以外のサービスの検討
60～79点	重 度	日常生活の自立が困難となり介護者の負担増大への対策が必要
80点以上	最重度	言語・歩行・着座等の機能低下・喪失へと移行し全介助へ

### \* 医療機関受診の目安（境界以上）

○設問Bの総得点が「境界」以上（10点以上）で未受診の場合には早期受診を勧奨する。

○過去に受診歴はあるが、そのときには正常と診断された、現在は通院していない等の場合も再受診を勧める。